



INGING MOTORSPORT



INGING MOTORSPORT OFFICIAL WEBSITE OF PAPER [<http://www.inging.co.jp>]

INGING NEWS PAPER 2008 VOL.03

Topics

The introduction of the driver #47

RONNIE QUINTARELLI

ドライバー紹介「ロニー・クインタレリ」

「チーム一丸となってトップ争いに加われるように」
今季に懸ける想いがコース上でカタチになる。



FREE
無料

Race Report

Round.2 SUZUKA CIRCUIT 5/10 - 5/11

第2戦 2008年5月10日・11日 鈴鹿サーキット

Round.3 TWIN RING MOTEGI 5/24 - 5/25

Support by cyber net

INGING NEWS PAPER VOL.3 [インギング ニュースペーパー]

発行：株式会社インギング 〒170-0013 東京都豊島区 電話：03-57-0267

Topics DRIVER INTERVIEW

フォーミュラ参戦3年目のロニーが、今季の意気込みを語る。
 昨年よりも体力面ではずいぶん向上しています。2シーズン続けてきて、マシンのセッティングやレース経験も増えてますね。このマシンで3年目なので、どうすれば良くなるかという方法を簡単に選べると思います。スピードに関してはレースでの積重ねも、完璧な年になると思う。昨年ミスもあったので、まだまだ85%くらいの出来かな。でも、今年では100%にしたいですね。シリーズでも昨年を上回る6位以内を目指します。

PROFILE

名前	ロニー・クインタレリ
国籍	イタリア
生年月日	1979年8月9日
出身地	イタリア・フェローネ
言語	イタリア語、英語、日本語
身長	173cm
体重	69kg
血液型	A型
趣味	サッカー・ゴルフ

HISTORY

1999年	カート・ヨーロッパ選手権125クラスチャンピオン カートワールドカップ100クラスチャンピオン カート世界選手権100クラス2位
2000年	フォーミュラ・ルノー-2000・イタリア選手権2位 (1勝)・ライオン(チャンピオンはスクアリア・フェラーリ・マルボロのフェリペ・マッサ)
2001年	ヨーロッパフォーミュラ・ルノー-2000選手権 10戦中5勝を挙げ総合2位(1勝)その後の5戦では2位 カート世界選手権100クラス シーズン2位
2002年	フォーミュラ・ルノー-2000・イタリア選手権2位(3勝) イタリア選手権60cc・11年4位総合2位(1勝)
2003年	全日本F3選手権にインキングから参戦。シリーズ4位
2004年	全日本F3選手権にインキングから参戦。ドライバーチャンピオン獲得(優勝R28,入賞多数)
2005年	スーパーGT選手権にSARD・トヨタ・スクアリアから参戦 距離1000kmレース総合優勝(トヨタ・スクアリア) 全日本フォーミュラ・ルノー選手権に参戦。シリーズ2位の入賞 日本プロスポーツ大賞 新人賞受賞(第1回日本人) F3選手権総合優勝
2006年	INGINGより全日本フォーミュラ・ルノー選手権に参戦 BR2000・シルバースターチーム・スクアリア・MP1レーシング アパリのテストに参加。続いて24日にはイタリアの市街地でのテストに参加
2007年	INGINGより全日本フォーミュラ・ルノー選手権に参戦。シリーズランキング7位(優勝1回)



RONNIE QUINTARELLI 47

RACE COMMENT Round.2 SUZUKA CIRCUIT 5/10 - 5/11

TEAM CERUMO/INGING

監督: 竹内 浩典
 アンタッキーが落ちてしまいましたね。今回の荒れたレースでは足をすくわれた感じになったのですが、レースです。そんな中でもロニーが素晴らしいポイントを取って順位は上がっていきそうです。このまま乗り切ってください。



TEAM STONEMARKET

監督: 三塚 雄一
 今回のスタートは手ごつたんですけど、今日の結果は予想が違ったからということで満足感のつもりはありません。次回まで目標を立てて頑張りたいと思います。次回まで目標を立てて頑張りたいと思います。



47 ロニー・クインタレリ

出来ることは全てやったよ。ノービッツ作戦だったけど、重要なポイントも取ったし、ノービッツ作戦も良かったけど、どうも機嫌が悪く残念だったね。とりあえずポイントも取れたし、機嫌も悪くはならなかったよ。

48 立川 祐路

運がなかった。セーフティカーで全てが崩壊し、後半順位になれなくて残念だったけど残り7周で目の前にバンプが現れてきて、それまでだった。ファステストラップはさすがだけど、最後まで諦めなかったスタッフへの感謝はなかったかな。

67 ロベルト・ストレイト

チャンスだと思っていたし、表彰台を目指してスタートからアツッシュした。オリーブ・レーシング・アクラントだよ。僕にしたら、まあまあいいね。次のレースはもっとアツッシュな走りを目指したいよ。



SECOND CHALLENGE

Round.2 SUZUKA CIRCUIT 5/10 - 5/11

残りわずか2周でレースはリスタート。
 クインタレリが8位、ストレイトは15位、立川が17位でフィニッシュ。

<決勝レース 250km (43周) > 天候: 晴れ | コース状況: ドライ
 レーススタート直前のグリッド上では強く冷たい雨が1コーナー側へと吹いていた。気温は19℃、路面温度は30℃を超えている。雨が続いたこのウィークの流れるとは全く異なるドライコンディションでレースはスタートした。ストレイト、立川がうまいスタートを見せる。1周目のホームストレートへは、ストレイトが4番手、立川は10番手、#47 クインタレリはポジションダウンして14番手で戻ってきた。だが3周目のシケイン立ち上がりでクインタレリは前を走る2台をパスし12番手へと順位を戻す。



5周目、順調に走行していたように見えたストレイトにスプーンコーナーで後方から#4 オリーブレーシング(KONDO RACING)が追突。1ピット作戦を選択していたストレイトは、イレギュラーのピットインとなってしまったのだが、ここでタイヤ交換、給油を済ませて追い上げながらの走行となる。ラップタイムはトップグループと遜色ない。立川とクインタレリはノービッツ作戦をとって残り8、10番手のポジションで走行している。1ピットと思われる前集団とは徐々に離れていくのだが、後方を抑え込みながら巧みな走行を続けた。

9周目、#5金石(SG team SZIGEN)が逆バンクで止まっている。マシン撤去のためセーフティカーが導入された。このタイミングでピット圏は続々とロスタイム無くピット作業を済ませてしまひ、残念ながら立川とクインタレリのマージンは全くなくなってしまった。

24周目に再開されたレースは終盤へと向かう。残り5周、なんと2回目のセーフティカーが導入された。逆バンクでオリーブレーシングがクラッシュし、またもコース上に車両が残ってしまったのだ。そしてその周回遅れのオリーブレーシングの直後を走っていた立川はパーツの破片がタイヤにあたり右リヤタイヤがブレーク、スロー走行でピットへと戻ってきた。ピットクルーは素早い修復で立川をコースへ送り出す。立川はファステストラップを記録しながら最後まで走行を続けた。残りわずか2周でレースはリスタート。しぶとい走りを見せたクインタレリが8位でチェッカーを受ける。ストレイトは15位、立川が17位でフィニッシュという結果となった。



◆No.47 R.クインタレリ 8位 ◆No.67 R.ストレイト 15位 ◆No.48 立川 祐路 17位